



尼崎市立武庫中学校

学校だより 平成24年7月号

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

家庭での勉強法

夏はこうやって勝ち切ろう！

校長 大石 泰樹

定期テストが終われば夏休み！受験生にとっては天王山の時を迎えます。1, 2年生にとっても、だんだん勉強が難しくなるころだと思えます。夏の長い休みは、遅れを取っている科目を挽回するチャンスです。そこで、今月は家庭での勉強法をアドバイスします。



教科書とワークを最大限に活用

自宅学習のポイント

教科書と学校のワークの活用が最大のポイントです。なぜなら、定期テストは教科書とワークから大きく外れた問題は出題されないからです。そのうえで心がけたいのは、予習中心型にすることです。苦手になりやすい教科は、英語と数学、あと理科です。特に英語と数学は、授業で初めてやると、その場で理解しなくてははいけません。「どうゆうこと？」と思っている間に、次の話に進んでしまいます。ですから、事前の予習を大切にしてほしいと思います。具体的には教科書を理解し、そこに出てくる問題を解いておくんです。ワークの問題までやっておけば、よりいいですね。そうしておけば、授業前に2回勉強したことになります。

授業を生かすポイント 『予習中心主義』で『その日解決主義』

予習をしっかりとできていれば、授業が復習になります。一度やったところを授業でもう一回聞くので、理解度が圧倒的に変わります。そして、授業で分らなかった箇所は、その日に解決することを心がけてほしいと思います。先生や友達に教えてもらってください。大切なのは、ちょっとしたつまづきを後回しにしないことです。《わからない》を家に持って帰っても、そのままになるだけで、結局はテスト前までわからないままになってしまうんですよ。ですから、日頃の生

活におけるポイントは、『予習中心主義』で『その日解決主義』です。

どこがわからないのか振り返ると繰り返しが大



苦手つぶしのポイント

時間のある夏休みは「苦手つぶし」に最適です。まず、自分がどこで引っかかっているのか、みつめてみましょう。そのためには、教科書をひっぱり出して、ふり帰ってみる事です。駆け足でざっとみながら、「ここは分かる」「ここも分かる」「ここからだな」って見つけていくんです。その公式なり、文法の説明をもう一度理解するように努力してみてください。「何が分かってないのか」を明らかにすることは、「何が分かればいいのか」に直結します。遠回りに見えますが、一番の近道です。

基礎力をつけるポイント

「よし、頑張るぞ！」と思っても、途中で挫折してしまう人が多いと思います。それは、完璧を求めすぎてしまうからではないでしょうか。受験勉強にも通じますが、単元ごとにじっくりやるのではなく、ワークなどを1回、パッとやってみるんです。出来ない所があってもいいんです。1回目のハードルを下げて、いかに早く1回目を終わるかがポイントなんです。半年かけて丁寧にするよりも、なるべく早く1巡して、2巡目に移る。2巡目はずっと早く終わられるようになります。そうやって、2巡目、3巡目と塗り固めていくんです。その方が、はるかに身につきます。

受験生、天王山は基礎の復習と苦手つぶし

夏の受験勉強のポイント

やることは、はっきりしています。「基礎の総復習」と「苦手つぶし」です。‘夏’のテーマは、基礎的な内容を一通り終えている状態を作ることです。もう一つは、足を引っ張っている科目の克服です。苦手科目に関しては、意識して2倍3倍の力を投じなければなりません。だから、夏はチャンスなんです。ほかの科目より時間をかけて、平均くらいまではできるようにしてください。(未来ジャーナル 益森直義氏の話を参考)

夏の総体に負けじ魂を燃やせ！！



いよいよ総体が始まります。クラブ員はベストを尽くして頑張ってください。

試合日程は市内大会は7月7, 8日、阪神大会は21, 22日、県大会は28, 29日を中心に行われます。各クラブの試合日程・会場は後日一覧表を配布します。応援をよろしくお願いいたします。